



パトロールに参加した矢巾中、矢巾北中、不来方高校の生徒。
左が細川瑠杏さん、左から2人目が渡邊羽奈さん

矢巾中、矢巾北中、不来方高の生徒による地域・交通安全のためのパトロールが12月19日、矢巾ショッピングセンターで行われました。3校から6人の生徒が参加。1日交通指導隊長に細川瑠杏さん（同高1年）、1日地域安全推進隊長に渡邊羽奈さん（同）を任命し、安全を呼び掛ける街頭活動を実施しました。

参加した佐藤叶愛さん（矢巾中2年）は「自転車を使うときはヘルメットを着用し、走行中は歩行者に注意している。車のドライバーにも、歩行者などに気を付けて運転してほしい」と話しました。

地元の安全のためパトロール 町内の中学、高校の生徒が尽力



街頭で実施した
買い物客へのチラシ配り



所作や携行品の点検を受ける
交通指導隊員ら

令和3年の交通安全へ 交通指導隊が初点検

町交通指導隊（木皿義倫隊長）は1月10日、新年の交通安全活動に向けた初点検を行いました。隊員15人が参集し、高橋町長、菅原英二、紫波警察署長の点検を受け、1年の活動に向け意識を高めました。

木皿隊長は「交通事故の絶無、悪質交通違反の根絶を目指し努力していく」と決意を述べました。



協定書に調印した
田村会長、高橋町長（左から）

災害時の各種手続き支援 行政書士会と協定締結

町は12月21日、県行政書士会（田村格会長）と「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。

町役場で締結式を行い、高橋町長と田村会長が調印しました。

災害時、罹災証明書などの作成に同会が協力して円滑に手続きし、被災者の不安解消や早期の生活再建などにつながるものです。



高橋町長らへ、車両内の装備を説明する川村分署長代理（右）



矢巾分署に新たに導入された救急車

救命救急の体制強化 矢巾分署に新救急車導入

盛岡南消防署矢巾分署に救急車の新車両が導入され、12月25日に運用が開始されました。これに先駆けて同21日、町内関係者を対象にお披露目が行われ、高橋町長や町消防団などが訪問し、新車両とその装備などを見学し、機能などへ理解を深めました。

新車両の装備として、大気中の空気を利用しウイルス除去を行う「オゾンガス発生装置」を導入。大気中の空気を利用した除菌装置で、新型コロナウイルス感染症がまん延している状況下でも、患者の安全な搬送が可能となります。また、（12誘導）心電図の測定が可能な※AEDも備えており、搬送中に測定し医療機関へ引き継ぐことにより、円滑な治療につながります。

※自動体外式除細動器



藤岡さんへ感謝状を贈る高橋町長（左から）

藤岡さんが協力隊卒業町長から感謝状授与

平成30年から町地域おこし協力隊に所属し活動した藤岡裕子さんが、任期を終え卒業しました。12月28日、退任式を町役場で行い、高橋町長から感謝状を贈りました。

高橋町長は「その行動力で活動に前向きに取り組んでもらった。3年間の活動を糧に、大いに飛躍してほしい」と話しました。



鏡餅などを町へ寄贈した澁田支部長（左）

J A いわて中央から鏡餅、切り餅が寄贈

J A いわて中央もち米生産部会矢巾支部（澁田英夫支部長）は12月28日、町へヒメノモチのお供え餅や切り餅を贈呈。町役場で贈呈式を行い、澁田支部長から高橋町長らへ贈られました。

お供え餅は1月上旬まで町役場1階に展示され、切り餅は町内の保育園などに提供されました。